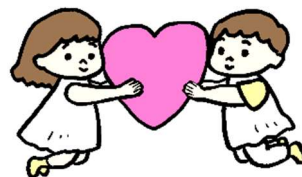


御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

みたルームの人権教育目標

- ★自他のよさを認め合うことができる児童
- ★自分の気持ちを適切に伝えることができる児童



第3回 研究授業報告①

10月9日(水)みたルーム 授業者 鈴木 敏大
自立活動「どんな気持ちかな」

- 【授業のねらい】
- 絵本の登場人物の気持ちを考えることを通して、状況に応じて人は様々な気持ちを抱くことを知る。
 - どのようにすれば友達と気持ちよく生活できるかを考え、自分の言葉で気持ちを表現する。
 - 温かく優しい言葉を相手に伝えることで、よりよい人間関係が築けることに気付く。
- 【人権教育の視点】 絵本の登場人物に掛ける言葉を考えることを通して、友達に対して温かい言葉を使うことの大切さに気付かせ、人と信頼関係を築くことのできるコミュニケーション能力を育てる。

【授業の工夫】



かかわり合いの場面作り

個別指導でのやりとりの中で、児童に温かい言葉をたくさん掛けることによって、気持ちの良いコミュニケーションに気付けるようにしました。また、相手が喜ぶ言葉を書き出し、「ふわふわ言葉の木」を作りました。

一人ひとりのよさを引き出す工夫

児童の考えや気持ちを表す言葉をホワイトボードに書き写しました。考えが出にくいときは「ことばのたからばこ(光村図書 こくご二年上)」の言葉を参考にしました。

学びの実感をもたせる工夫

児童の意見から温かい言葉が出てきたときには大いに褒め、温かい言葉はお互いにより関係をもたらすことを絵本や本児との会話を通して具体的に伝えました。ワークシートの記述からも学習意欲、人への思いやりの態度を評価しました。



〈授業を終えて〉

「ふわふわ言葉の木」作りでは、「早く褒め言葉を書いて木に貼りたいです。」と話しながら、「ことばのたからばこ」を参考にして意欲的に取り組む姿が見られ、「遊んだことを忘れないよ。」など、温かい言葉がたくさん出てきました。温かい言葉を友達にも伝えられるように、引き続き指導を続けていきます。



第3回 研究授業報告②

10月9日(水) みたルーム 授業者 澤 肇

自立活動「どんな気持ちなんだろう」

【授業のねらい】 ○自分の感情を適切に認識・表現できるようにする。

○互いに共感し合おうとする態度を養う。

【人権教育の視点】 友達の意見を互いに認め合う活動を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めようとする態度を育てる。

【授業の工夫】

授業の方法



第1時

- ①「休み時間に友達と遊んでいると別グループが長縄をやっている新記録が出たところを見た」という設定の絵カードを見せる
(左の子が自分)
- ②吹き出しの中にあてはまる言葉掛けを考え 付箋に書く
(いくつでもよい)

※考えをまとめるのが難しい場合は言葉のたから箱(光村 三年上)を提示




一人ひとりのよさを引き出す工夫

学級での一場面を想定した内容に取り組みました。考えは付箋に書き、並べ替えやすくすることで自他の考えの共通点を見付けやすくしました。

かかわり合いの場面作り

複数の児童の個別学習の時間に同じ内容の指導を行いました。翌週に他の児童が行ったものを見合い、互いに評価することで自他の考えのよさを認め合えるようにしました。

授業の方法

<p>第1時</p> 	<p>第2時</p> 	<p>第3時</p> 
<p>第1時</p> <p>①「休み時間に友達と遊んでいると別グループが長縄をやっている新記録が出たところを見た」という設定の絵カードを見せる (左の子が自分)</p>	<p>第2時</p> <p>①前時でそれぞれが付箋に書いたものをまとめて見る ②その中で自分がよいと思ったものにメッセージカードを書く (いくつでもよい)</p>	<p>第3時</p> <p>①前時でそれぞれが書いたメッセージカードをまとめて見る ② 振り返り活動(ワークシート記入)</p>

補足

- ・付箋とメッセージカードには名前を書かないことにした
- ・付箋は児童ごとに色を変えることで同じ意見が出たときに別の人が書いたことが分かるようにした

学習の振り返り

年 組 氏名 _____

① メッセージを読んだことを書いてみましょう。

② 自分が縄を組んでいる側なら、どんな言葉をかけて欲しいですか。

学びの実感をもたせる工夫

学習後には、振り返りシートを活用して、めあてに沿った振り返りをしました。振り返りシートから児童の進歩や努力を見取り、評価しました。

〈授業を終えて〉

みたルームでは全時間個別指導なので、その中でどのようにかかわり合いの場面を設定するかを考え、授業を組み立てました。共通のワークシートを使い、お互いにメッセージカードで評価し合うことで、間接的に他の児童とかかわり、認め合うことができるように工夫しました。どの児童も友達の意見を認め、メッセージを書くことができました。また、考えを認めてもらうことにより、他者と認め合うことの喜びを実感させることができました。